

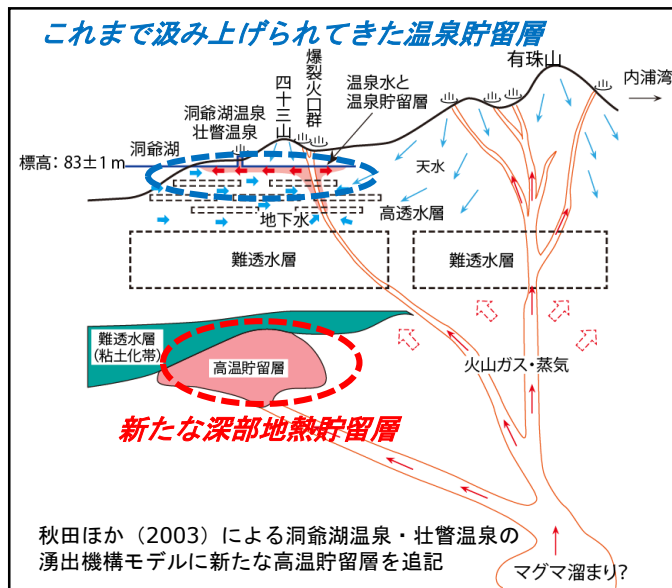
有珠山周辺における温泉資源に関する研究

背景

- 2000年有珠山噴火以降、洞爺湖温泉・壮瞥温泉では温泉資源が急激に衰退化（泉温・濃度の低下）
- 温泉資源の安定確保と安定供給が喫緊の課題（温泉供給事業、地域産業への影響大）

成果

1 新たな地熱系概念モデルの構築



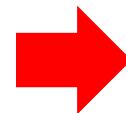
2 新たな地熱資源を確認



- 地熱資源の安定確保
- 地域の課題を克服

成果の活用状況

- 資源量評価モニタリング調査への活用と技術支援
- 温泉発電も含めた地熱利用の展開
- 地熱系モデルに基づく、新たな地熱・温泉資源開発への展開



地熱・温泉資源を活用した地域産業振興、地方創生への取り組み

洞爺湖温泉「宝の山」プロジェクト（地域再生計画）

熱水を温泉供給事業で利活用（H26.12～）
 バイナリー発電（温泉発電）／電気自動車充電設備／
 温泉卵「ジオ玉子茶屋（仮称）」ほか熱水の有効活用を計画中



洞爺湖町は「洞爺湖温泉「宝の山」プロジェクト」と名付けた地域再生計画を国に提出して、H26.11.28認可を受けた。これにより、掘削した調査井は無償譲渡され、発電に使用が認められた国内初のケースとなり、様々な利活用を検討して事業を展開予定。